

新入生の皆様へ 如水会寄附講義のご案内

# 如水ゼミ

## 如水ゼミとは？

本学同窓会「如水会」が提供する少人数ゼミナール形式の授業です。

興味のある業種をディスカッションやワークショップ、学外見学によって幅広く、実践的に学ぶことができます。

講師は第一線で活躍する卒業生達(ボランティア)。同窓生の絆が強い一橋大学らしい、先輩たちによる寄附講義です。

## 開講ゼミ一覧

春夏・秋冬学期業種別に関講します。  
複数回受講可能ですので、興味のある業種はどんどん受講してください！

<昨年度>

商社 金融 広告 マスコミ（新聞/出版・放送）損害保険 生命保険  
国際関係 総合重工業 陸上運輸 航空運輸 食品 ヘルスケア&イノベーション  
アントレプレナー/スタートアップ IT×社会デザイン

## 講師所属先

<昨年度一例>

三井物産/三菱商事/住友商事/伊藤忠商事/丸紅/みずほフィナンシャルグループ/メルルリンチ/  
ブラックロック・ジャパン/フジテレビジョン/TBS/日本テレビ/読売新聞東京本社/毎日新聞社/  
日本経済新聞社/共同通信社/講談社/東京海上日動/三井住友海上/大正製薬/  
電通/博報堂/JR東日本/外務省/日本航空/三菱重工業/川崎重工業/|HI|/住友生命/  
味の素/ハーゲンダッツジャパン/LINE/ウォンテッドリー/サイバーエージェント/NTTデータ…等

## 履修実績

<春夏秋冬学期合計>

**R2年度264名 H31年度180名 H30年度170名**

(オンライン開講)

詳細はこちら▼



履修対象 **2年生以上** ぜひ来年度以降の履修をご検討ください！

[\(http://www.rdche.hit-u.ac.jp/education/josui/careersemin/\)](http://www.rdche.hit-u.ac.jp/education/josui/careersemin/)

学生と共に創るヘルスケア&イノベーション

講師幹事 城間 波留人

(平14商 ㈱メディウィル代表取締役社長)

「何故いまヘルスケア&イノベーションなのか」を伝えるべくスタートした当ゼミは、今年で3年目を迎えました。初年度は9名、2年目は15名、3年目となる今年には18名の学生が参加登録し、年々増えています。受講後「来年の受講生に本ゼミを勧めたいか(1〜5段階…1全く勧めたくない〜5積極的に勧めたい)」の質問に、初年度「5.0点」、2年目「4.9点」と、学生から高評価を受け、「ゼミを始めてよかった」と嬉しく思っています。

ゼミの目的は、大きく2つあります。1つ目は、ヘルスケア・医療の課題先進国である日本で100兆円ともいわれるヘルスケアビジネス業界の最前線のイノベーション動向を、先輩から直接学び、質疑応答、ディスカッションを通じて体系的に理解することです。2つ目に、多彩なキャリアを持ち、人間的魅力にあふれる講師陣から、キャリア形成や人生哲学を学び、自らのキャリアと人生を考え、具体的に行動していくことです。

今年の講師チームは、㈱メディウィル、ノバルティスファーマ(株)、日本メドトロニック(株)、大正製薬(株)、日本調剤(株)、Save Medical (株)クリブラ、東京医科歯科大学のメンバーで結成しました(講師名は本誌7月号11頁に掲載)。

このゼミのルールは、①積極的に質問する、②自分の意見を遠慮なく述べる、③自分の頭で考え、まとめ、行動するの3つです。そのため、講義は質疑応答やディスカッションを交えたインタラクティブな方式で進め、理解を深めています。また、講義のあとには毎回懇親会を用意し、キャリア・人生相談を通じて、講師と学生および学生同士の親睦を図っています。



(中略)

本年は、すべてオンライン講義となりましたが、学生からは以下のような声が寄せられました。

「正直なところ、当初はオフィス訪問がなくなりガツカリしていたのですが、毎回深いところまで質問をすることができ、想像の数倍の学びを得ることができました。」

「キャリアについてもどの講師の方々からも、ご自身の考えを建前無しに伺うことができ、建前無しだとわかっているからこそ自分の心に残っているものが多いです。」

「最終回が終わったあとのゼミ生のグループラインでも、ゼミ生同士刺激を受けていたという話がありました。今回はオンラインでしたが、むしろお互いの話をじっくり聞くことができたのではないかと感じています。」

このように如水ゼミを通じて、ヘルスケア&イノベーションを学ぶだけでなく、自分自身のキャリアや人生について深く考えるきっかけを提供し、学生の真の成長を後押しすることが、本ゼミの最大の付加価値となっています。

ゼミ生の声 ※ ○ は受講したゼミ名

経済学部4年(ヘルスケア&イノベーション)

本ゼミの受講を決めた理由は、文系の一橋生には馴染みのない医療業界で、講師の方々ができるように働かれていますか興味があったからです。各講義では、医療業界のしくみや昨今の日本の医療現場の状況、各講師の多様なキャリアの考え方を学ぶことができました。講師の方々自らが培ってきたスキルや力を活かし、医療業界で貢献されていることに衝撃を受けました。

社会学部4年(金融)

如水ゼミでOB・OGの方や同期・先輩とつながったことで一橋への愛校心が芽生えたと思う。この大学にきた意味は何だったのか、卒業した先輩方はどんな活躍をしているのか、仲間は今どんなことを学んで何を考えているのか、そんなことを知り、この大学にきた価値を実感できるほど大きな刺激を得ることができた。学生時代に強く影響を受けた授業としてずっと記憶に残っていくと思います。

法学部2年(金融)

多くの講師が金融や経済について語る際に歴史、文学、哲学などの教養的な分野に触れられていました。どの講師も問題意識が高く、勉強に対する意識が刺激され、今後の学生生活にも大きく影響する講義でした。キャリアに対する考え方も大きく変わり、多くの指針を頂いたと思っています。

社会学部3年(航空)

子供の頃から飛行機に興味があり、一橋卒の先輩方が航空業界でどのように働いているのかを見てみた。ゼミを受講しました。講義では航空業界についての知識だけでなく、仕事や物事に取り組む上での心構えや考え方を学ぶことができました。また、講義を通じ、先輩方の繋がりや強さが印象に残りました。ゼミで吸収した知識や考えを生かし、Captains of Industryを体現するような人間に一歩ずつ近づけたらと思います。

社会学部3年(マスコミ)

ジャーナリストとして第一線で活躍しているOB・OGの方から直接お話を聞き、記者の働き方や使命、やりがい、大変さなどを知ることができた。ゼミでした。私自身は、将来の選択肢の1つとしてジャーナリストを考えているため、リアルな働き方を学んだことで、今後の進路選択の助けになったと感じています。総じて、非常に充実した有意義な3カ月間の講義でした。